



2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年8月7日

上場会社名 株式会社岐阜造園 上場取引所 東 名
コード番号 1438 URL <https://www.gifu-zohen.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）山田 準
問合せ先責任者 （役職名）常務執行役員管理部長 （氏名）兼松 正道 TEL 058-272-4120
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の連結業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年9月期第3四半期	4,940	7.4	562	14.9	575	15.8	398	18.0
2025年9月期第3四半期	4,601	19.6	489	13.3	497	13.3	337	11.5

（注）包括利益 2026年9月期第3四半期 520百万円（44.5％） 2025年9月期第3四半期 360百万円（11.4％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	122.78	122.06
2025年9月期第3四半期	104.10	103.44

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年9月期第3四半期	5,946	4,546	76.4
2025年9月期	5,776	4,144	71.7

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 4,545百万円 2025年9月期 4,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2026年9月期	—	20.00	—		
2026年9月期（予想）				20.00	40.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	6,500	3.7	690	28.2	700	27.6	469	22.0	144.65

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年9月期3Q	3,250,600株	2025年9月期	3,244,600株
② 期末自己株式数	2026年9月期3Q	387株	2025年9月期	387株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年9月期3Q	3,244,234株	2025年9月期3Q	3,242,213株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しに加え、インバウンド需要の拡大が観光・サービス業を強力に下支えし、緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で、中東情勢などの地政学リスクに伴うエネルギー価格の不安定な動きや、主要国の金融政策を受けた為替相場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続きました。企業の景況感においては、人手不足への対応としての省力化投資に加え、カーボンニュートラルの実現に向けた「グリーン投資」への意欲が引き続き高い水準で推移いたしました。

建設業界においては、公共投資が「国土強靱化実施計画」に基づき、インフラの老朽化対策や防災・減災対策を中心に安定的に推移いたしました。民間投資においても、都市部における大規模再開発プロジェクトや、環境意識の高まりを背景としたオフィス・商業施設の緑化需要が継続して活発に推移いたしました。一方で、物流・資材コストの高止まりに加え、深刻化する労働力不足による労務費の上昇が収益の圧迫要因となっております。また、「建設業の2024年問題」に伴う時間外労働の上限規制が適用される中、適切な工期設定や生産性向上のためのデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進が、業界全体の最優先課題として定着しております。

このような状況の下で、当社グループは、持続的な企業価値向上を目指し、引き続き施工力・提案力の強化と人材育成に注力してまいりました。人材面では、若手層・中堅層の育成を目的とした研修制度「岐阜造園アカデミー」の充実を図るとともに、多様な働き方への対応と生産性向上に取り組みました。事業面では、ガーデンエクステリアにおいて、大手ハウスメーカーとのパートナーシップを一段と深め、高付加価値な提案による受注単価の向上に努めました。ランドスケープにおいても、高級商業施設や宿泊施設を中心に、新規案件の受注および確実な施工に注力しました。売上・利益に関しては、中部地区の大型商業施設や関東地区の高級リゾートホテルの造園緑化工事の順調な進捗および完工等により、通期業績予想の達成に向けて、引き続き順調に推移しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,940,071千円（前年同四半期比7.4%増）、営業利益は562,008千円（前年同四半期比14.9%増）、経常利益は575,849千円（前年同四半期比15.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は398,340千円（前年同四半期比18.0%増）となりました。

なお、当社グループは造園緑化事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて170,243千円増加し、5,946,576千円となりました。

負債は、支払手形・工事未払金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて231,860千円減少し、1,399,991千円となりました。

純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて402,103千円増加し、4,546,584千円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,631,424	2,967,129
受取手形・完成工事未収入金	1,110,267	734,563
未成工事支出金	14,182	38,321
販売用不動産	42,241	9,800
その他	68,137	66,180
貸倒引当金	△4,901	△3,008
流動資産合計	3,861,351	3,812,986
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	435,225	417,655
土地	938,169	963,703
建設仮勘定	—	11,100
その他（純額）	20,993	31,246
有形固定資産合計	1,394,388	1,423,705
無形固定資産	32,630	80,989
投資その他の資産		
その他	494,680	635,614
貸倒引当金	△6,719	△6,719
投資その他の資産合計	487,961	628,895
固定資産合計	1,914,981	2,133,589
資産合計	5,776,333	5,946,576
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	566,668	444,292
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	26,664	20,802
未払法人税等	103,550	55,125
未成工事受入金	83,469	95,221
賞与引当金	44,963	3,360
完成工事補償引当金	15,555	16,605
その他	354,497	286,314
流動負債合計	1,395,368	1,121,722
固定負債		
長期借入金	25,272	11,136
役員退職慰労引当金	169,118	175,799
退職給付に係る負債	41,632	45,626
その他	460	45,706
固定負債合計	236,482	278,268
負債合計	1,631,851	1,399,991

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,833	415,236
資本剰余金	354,132	356,534
利益剰余金	3,278,956	3,554,016
自己株式	△282	△282
株主資本合計	4,045,639	4,325,504
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,010	220,367
その他の包括利益累計額合計	98,010	220,367
新株予約権	831	712
純資産合計	4,144,481	4,546,584
負債純資産合計	5,776,333	5,946,576

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	4,601,163	4,940,071
売上原価	3,230,157	3,503,464
売上総利益	1,371,005	1,436,606
販売費及び一般管理費	881,947	874,598
営業利益	489,058	562,008
営業外収益		
受取配当金	6,029	8,144
受取地代家賃	6,561	6,644
その他	3,477	6,661
営業外収益合計	16,068	21,450
営業外費用		
支払利息	1,321	1,833
不動産賃貸費用	5,872	5,771
その他	600	4
営業外費用合計	7,794	7,609
経常利益	497,332	575,849
特別損失		
減損損失	4,364	—
特別損失合計	4,364	—
税金等調整前四半期純利益	492,968	575,849
法人税、住民税及び事業税	137,624	130,841
法人税等調整額	17,832	46,667
法人税等合計	155,457	177,508
四半期純利益	337,510	398,340
親会社株主に帰属する四半期純利益	337,510	398,340

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	337,510	398,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22,832	122,357
その他の包括利益合計	22,832	122,357
四半期包括利益	360,343	520,697
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	360,343	520,697

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、造園緑化事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	28,221千円	28,821千円